

第33回 大会プログラム



2012年度 異文化間教育学会

Intercultural Education Society of Japan

プレセミナー: 2012年6月8日(金)

会 期: 2012年6月9日(土)~10日(日)

会 場: 立命館アジア太平洋大学 F棟



異文化間教育学会 第33回大会 プログラム 目次

異文化間教育学会第33回大会挨拶	3
大会参加者へのご案内	4
大会日程	6
立命館アジア太平洋大学(APU) へのアクセス	7
キャンパスマップ	8
発表会場案内図	9
会場案内	10
プレセミナーのご案内	11
発表について	13
学会優秀発表賞について	14
特定課題研究	15
基調講演	16
個人発表	17
共同発表	25
ケース/パネル	29
ポスター発表	31
第33回大会賛助団体ご芳名	34
異文化間教育学会第33回大会準備委員会	39



異文化間教育学会第33回大会

ご挨拶

9/11、3/11と21世紀の世界はますます不確実・不安定な社会へと変化し、また同時に科学技術の発展と共に「グローバル化」が進んでおります。これに呼応し、国内外ではいかに21世紀の担い手を育成するのかが緊急の課題として叫ばれております。これは単に産業界からの要請だけではなく、急激に多文化化する社会の多方面からの要請であることは、日頃マクロ・マイクロレベルで研究を重ねている先生方には明白でしょう。

このような時期にこの第33回大会を遠く大分県別府市に設置されている立命館アジア太平洋大学で開催できますことは、意義のあることであると考えております。短い歴史ではありませんが、異文化間教育の実践をこれまで積み重ねてきました。他の高等教育機関と同じく、高大接続教育、初年次教育、課外教育、国際学生寮、海外学修プログラム、キャリア教育等、これまでとは全く違う教育方法を試行錯誤で開発中ではありますが、その一端を現場でご覧いただければ幸いです。

大会プログラムにつきましては、6月8日(金)にはプレセミナーを3セッション設け、9日(土)には特定課題研究「ルーツからルートへ：ニューカマーの子どもたちの今」を行い、さらに学会員の方々の口頭発表やポスター発表、懇親会など充実した内容が盛り込まれております。6月10日(日)には、基調講演としてニューメキシコ大学名誉教授John Condon先生による「You Can't Go Home Again」と題された基調講演、学会員の方々の口頭発表、ポスター発表、ケースパネルを行います。このように、本大会ではこれからの社会形成に向けた重要なトピックを扱いますので、多くの皆様にご参加下さいましたら幸いに存じます。学生が「天空の城」と呼ぶ、少々不便なところにあるキャンパスではありますが、別府という「泉都」にお泊まりいただく事によって国際学生がどのようにコミュニティーの国際化に関わる事ができるのかもご理解いただけるかと思えます。末筆ながら、本大会の開催にあたり、多くのご支援とご協力を賜りました諸機関の皆様には厚く感謝の意を表したいと存じます。

異文化間教育学会第33回大会準備委員長 近藤 祐一

大会参加者へのご案内

1. 大会日程

大会会期：2012（平成24）年6月9日（土）～6月10日（日）

会 場：立命館アジア太平洋大学 F棟

*懇親会：2012年6月9日（土） 発表終了後 会場：立命館アジア太平洋大学カフェテリア

*プレセミナー：2012年6月8日（金） 会場：立命館アジア太平洋大学 F棟

2. 参加資格

会員・非会員を問わず、どなたでもご参加いただけます。

3. 参加申し込み

大会参加費および懇親会費は、5月18日（金）までにお振り込みください。

5月18日以降は大会当日、当日料金での受付となりますので、ご了承ください。

Web入力のお願い

参加申し込みならびに発表申し込みを希望される方は、会員・非会員とも、第33回大会ホームページの「参加・発表の申し込み」ページより行ってください。

（URL: <http://www.intercultural.jp/iesj2012/06.html>）

お申し込み後に登録受付完了メールが自動送信されます。参加費合計金額等、内容をご確認のうえ、メールを受信後1週間以内に、諸費用を指定口座までお振り込みください。参加費の受領をもって、参加申し込みの受付完了とさせていただきます。

*大会参加費および懇親会費は以下の通りです。

なお、お払い込みの参加費等は、理由を問わず返却いたしません。予めご了承ください

		事前料金 (5月18日まで)	当日料金
大会参加費	正会員	5,000円	6,000円
	学生会員	3,000円	4,000円
	通信会員	5,000円	6,000円
	非会員（一般）	6,000円	7,000円
	非会員（学生）	4,000円	5,000円
	維持会員	1口1名様無料	7,000円
	名誉会員	ご招待	
懇親会	一般	4,000円	5,000円
	学生会員	3,000円	4,000円

大会参加者へのご案内

- 参加者は、参加者1名につき払込取扱票1枚でご入金ください。
領収書は、当日受付でお渡しいたします。
- 6月9日・10日の両日とも午前9時より受付を行います。受付にて名札をお受け取りいただき、大会会期中はその名札をご着用ください。
- 特定課題研究、講演会、個人発表、共同発表、ポスターセッション、ケース／パネルの発表者および司会者の方々は「発表者・司会者受付」にお越しください。
- 停電などによりPCが使用できない場合に備え、発表者の方々には、紙媒体での発表のご用意もお願いいたします。
- 航空券および宿泊に関しては、旅行プランを利用することが出来ます。詳しくは、第33回大会ホームページのアクセス／宿泊のページ（<http://www.intercultural.jp/iesj2012/08.html>）をご覧ください。

<連絡先>

大会全般または発表申し込みに関するお問い合わせ

異文化間教育学会第33回大会準備委員会

e-mail : ibunka333@gmail.com

参加申し込み・お支払いに関する連絡先

異文化間教育学会第33回大会ヘルプデスク

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19 (株)国際文献印刷社内

E-mail : iesj33-helpdesk@bunken.co.jp

FAX : 03-3368-2822

会員登録に関するお問合せ先

異文化間教育学会事務局 会員業務係

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19 (株)国際文献印刷社内

e-mail : iesj-post@bunken.co.jp

FAX : 03-3368-2822

大会当日の連絡先

異文化間教育学会第33回大会準備委員会

〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1

立命館アジア太平洋大学 近藤研究室内

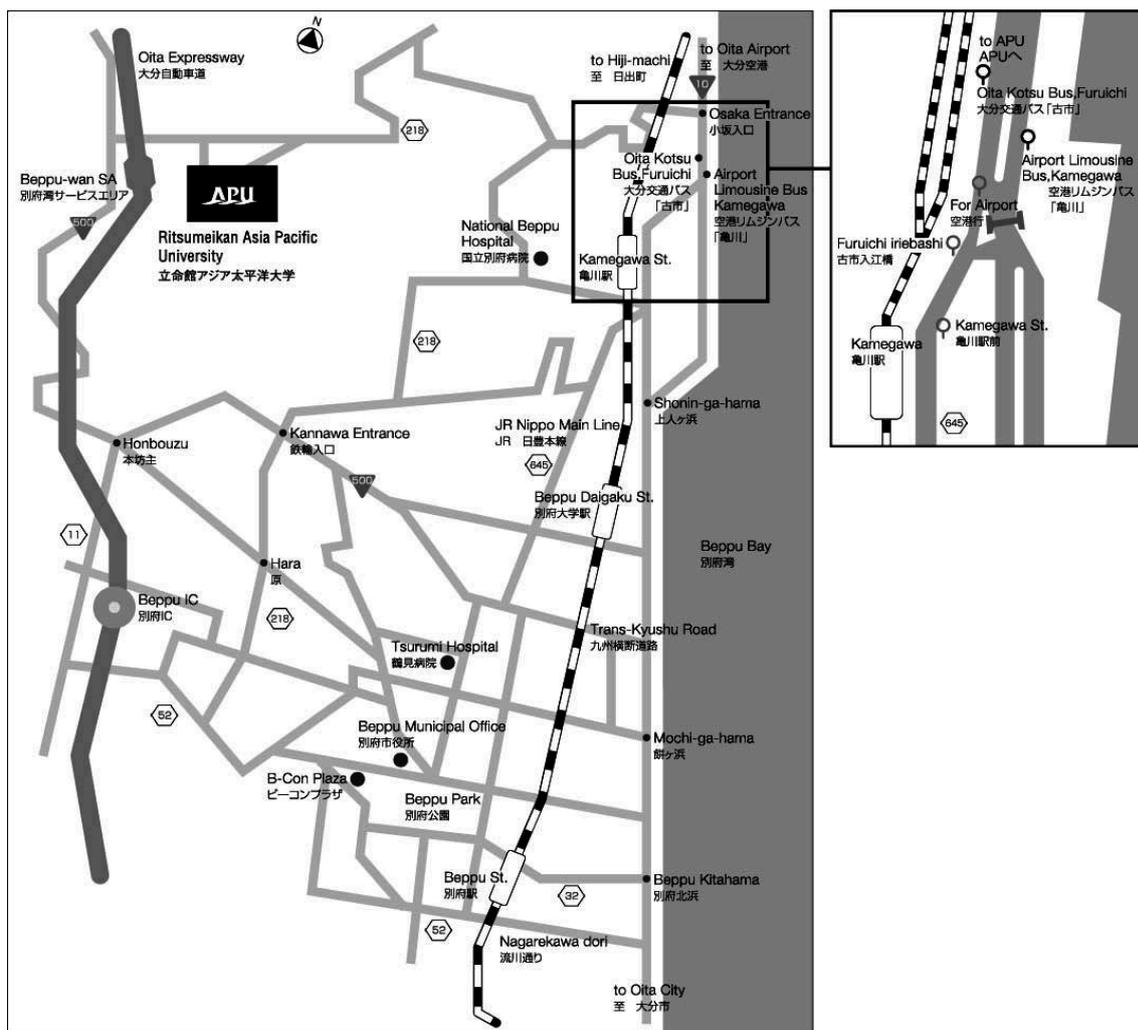
e-mail : ibunka333@gmail.com

[大会当日限定ヘルプデスク：090-9070-4401](tel:090-9070-4401)

大会日程

	6月8日(金)	6月9日(土)	6月10日(日)		
9:00		9:00- 受付 F棟アトリウム		9:00- 受付 F棟アトリウム	
9:30		9:30-12:00 特定課題研究 F104		9:30-10:30 個人発表 F会場: F111 G会場: F112	9:30-10:30 共同発表 C会場: F107 D会場: F108
10:30					
10:45		10:45-12:15 大会基調講演 「You Can't Go Home Again」 ジョン・コンドン ニューメキシコ大学名誉教授 F104			
12:00		12:00-13:00 昼食	12:00-13:00 紀要編集委員 会 F107 広報・情報化 委員会 F108 企画・交流委 員会 F109 研究委員会 F110		
12:30	12:30- 受付 F棟アトリウム	12:30-13:30 大学カフェテ リア		12:30-13:30 昼食 大学カフェテリア キャンパスツアー (希望者のみ、13:15にカフェ テリア前集合)	12:30-13:30 研究委員会 F110
13:00	13:00-16:30 プレセミナー	13:00-14:00 総会 F104			
13:15	セミナー 1: F107			13:30-15:00 ポスターセッ ション (F棟アトリウ ム)	
14:00	セミナー 2: F110 セミナー 3: F111	14:00-17:00 個人発表 A会場:F108 B会場: F109 C会場: F110 D会場: F111 E会場: F112	14:00-17:00 共同発表 A会場: F103 B会場: F107	14:00-15:30 個人発表 H会場: F111 I会場: F112	14:00-15:30 ケース・ パネル A会場: F107 B会場: F108 C会場: F109
15:00					
15:30					
16:30					
17:00					
17:30		17:30-19:30			
18:00	18:00-20:00 理事会	懇親会 大学カフェテリア			
19:30	B棟2階 RCAPS会議室				
20:00					

立命館アジア太平洋大学(APU)へのアクセス



ＪＲ亀川（かめがわ）駅から

- ・大分交通バス「立命館アジア太平洋大学」（終点）下車（約15分）バス運賃 片道330円

ＪＲ別府（べっぶ）駅から

- ・東口より
大分交通バス「立命館アジア太平洋大学」（終点）下車（約35分）バス運賃 片道540円
- ・西口より

亀の井バス「立命館アジア太平洋大学」（終点）下車（約35分）バス運賃 片道540円

大分（おおいた）空港から

- ・空港リムジンバス「エアライナー」にて「亀川」下車（約30分）バス運賃 片道1,300円
→乗り継ぎ（反対車線のバス停「古市（ふるいち）」より）
→大分交通バス「立命館アジア太平洋大学」（終点）下車（約30分）バス運賃 片道330円

ＪＲ博多（はかた）・福岡（ふくおか）空港から

- ・高速バス「とよのくに」にて「高速別府湾・APU」下車 バス運賃 片道3,100円（4枚回数券購入の場合、片道2,000円）（JR博多駅からは約130分、福岡空港からは約90分）

大分交通株式会社ホームページへ(<http://www.oitakotsu.co.jp/index.php>)

福岡空港ホームページへ(<http://www.fuk-ab.co.jp/>)

大分空港ホームページへ(<http://www.oita-airport.jp/>)

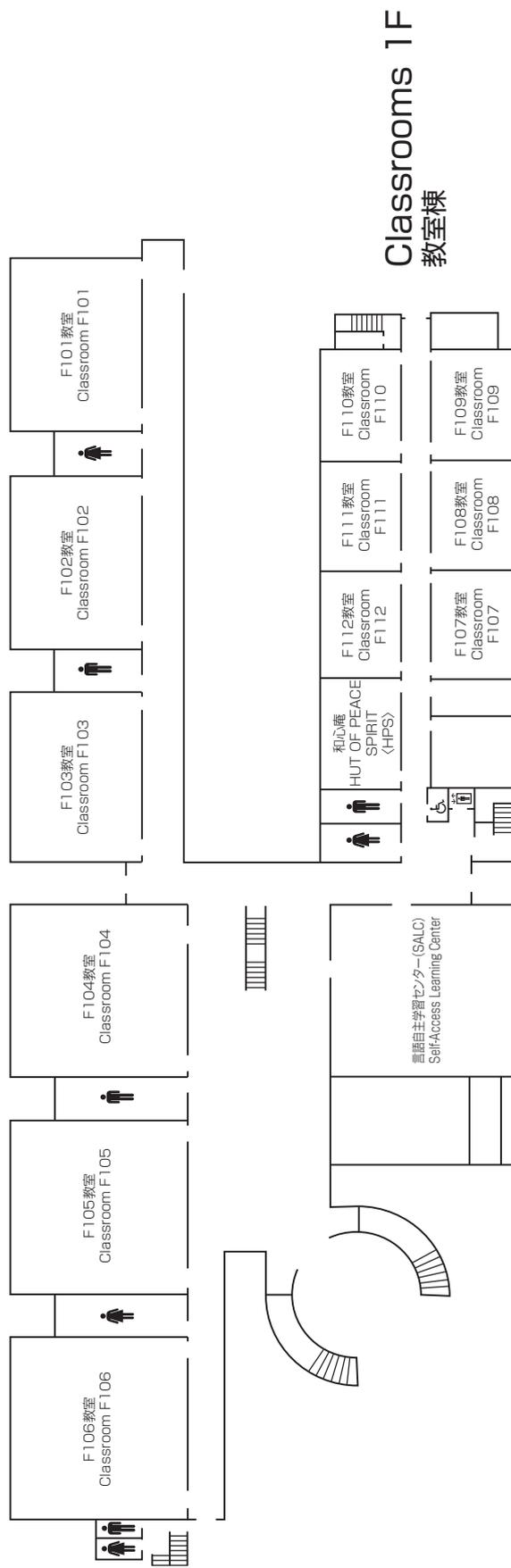
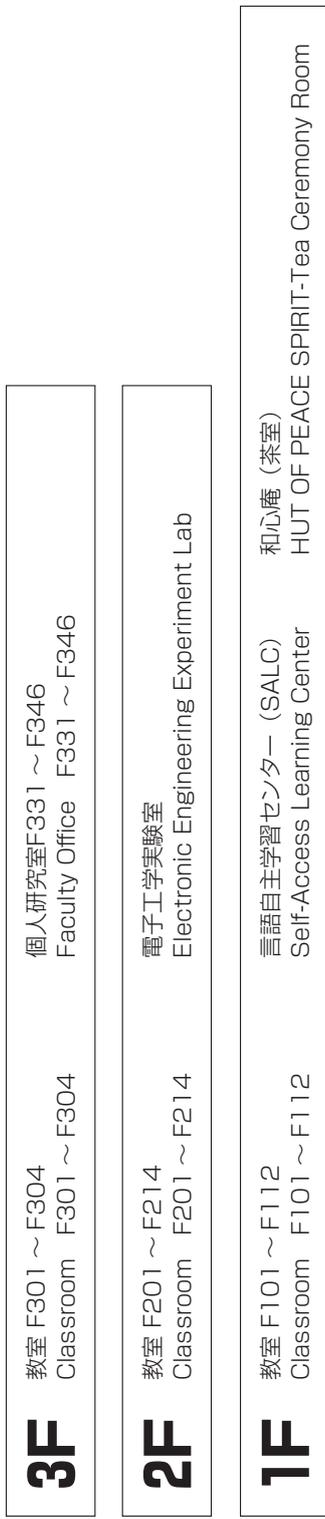
キャンパスマップ



発表会場案内図

F棟 1階

Classrooms <Bldg F> 教室棟



会場案内

大会前日 6月8日 (金)

受付	12:30—	F棟アトリウム
プレセミナー	13:00—16:30	F107、F110、F111
理事会	18:00—20:00	B棟2階 RCAPS会議室

大会第1日 6月9日 (土)

受付	9:00—	F棟アトリウム
特定課題研究	9:30—12:00	F104
紀要編集委員会	12:00—13:00	F107
広報・情報化委員会	12:00—13:00	F108
企画・交流委員会	12:00—13:00	F109
研究委員会	12:00—13:00	F110
総会	13:00—14:00	F104
個人・共同発表	14:00—17:00	F棟1階 各教室 (F103, F107~F112)
懇親会	17:30—19:30	大学カフェテリア

大会第2日 6月10日 (日)

受付	9:00—	F棟アトリウム
個人・共同発表	9:30—10:30	F棟1階 各教室 (F107, F108, F111, F112)
基調講演	10:45—12:15	F104
研究委員会	12:30—13:30	F110
ポスターセッション	13:30—15:00	F棟アトリウム
個人・共同発表	14:00—15:30	F棟1階 各教室 (F107~F109, F111, F112)

大会本部	F棟言語自主学习センター (SALC) / F102
学会本部・理事控室	F棟言語自主学习センター (SALC)
昼食会場	大学カフェテリア
リフレッシュメント	F棟アトリウム/言語自主学习センター (SALC)
書籍販売	F棟アトリウム
クローク	F棟言語自主学习センター (SALC)
	第1日 9:00—17:15
	第2日 9:00—15:45

*クロークにお預け入れの際には預かり証をお受け取り下さい。貴重品はお預かりできません。

プレセミナー (6月8日 13:00-16:30)

プレセミナー1 (会場：F107)

海外体験における学びをはかる－Eポートフォリオによる学生成果分析の可能性

講師:

芦沢 真五 (明治大学国際連携機構特任教授)

小松 大 (朝日ネット)

学生の海外体験・学習の機会は、従来からの留学、語学研修に加えて、海外ボランティアやインターンなど多様化する一方です。こうした海外体験学習の成果を分析する指標をどう構築するか、は国際体験学習のカリキュラムの中でどう位置付けるか、にもかかわる重要な課題です。また、今日、グローバル人材育成が重視される中であって、留学直後のアンケートだけではなく、学習した内容がその後のキャリア形成にどのようなインパクトを与えているかを分析することも喫緊の研究テーマです。このワークショップでは、こうした学習成果分析のツールとして、Eポートフォリオの可能性について議論したいと思います。ここ数年、日本でも教育機関に導入が進みつつあるEポートフォリオですが、海外学修や、異文化体験学習の学びのアセスメントツールとして活用することができるのか、また導入時にはどのような問題点があるのかについて考えるセッションです。まず、二名の講師よりEポートフォリオについての基本的な仕組み、海外の大学での活用例、異文化学修に特に焦点を当てた場合の導入例についてプレゼンを行います。その後にワークショップ形式で、参加者間で話し合いをしながら各教育機関への導入案を作成し、実際の導入及び活用に結びつける事ができるようになる事がこのセッションの目的です。

プレセミナー2 (会場：F110)

発達障害を通して考える教育の多様性

講師:

ヒューバート 眞由美

(立命館大学学生オフィス・特別ニーズ学生支援室支援コーディネーター／
臨床心理士)

昨今では多様化する学生へのさまざまな支援の在り方が模索されています。発達障害など、外見からは分かりにくい障害特性を持つ学生の存在も、教育の中で重要なダイバーシティ要素であると考えられ、彼らの存在は教育の多様化の必要性を示唆していると言えるでしょ

う。そして、発達障害を理解することは、学生の能力や認知の特性、学習やコミュニケーションスタイルの多様性を理解することであり、発達障害を理解することによって学生個々人の特性に沿った教育のあり方を導くことが可能になるのではないのでしょうか。今回のワークショップでは、発達障害学生への支援という観点から、インクルーシブ教育や多様な学生への包括的支援を考えたと思います。実践報告や体験型ワークを通して参加同士が意見交換し、学びあえるような機会になればと考えています。

プレセミナー3 (会場：F111)

グローバル人材育成のための初年次教育プログラム構築

講師：

- Joe Hicks (立命館アジア太平洋大学 教育開発学修支援センター教授)
 立山 博邦 (立命館アジア太平洋大学 教育開発学修支援センター助教)
 下之門 直樹 (立命館アジア太平洋大学 アドミッションオフィス)

ここ数年、大学教育において特に注目を浴びている「グローバル人材」と「初年次教育」。このセミナーでは、この2つを同時進行で進め、シナジーを生み出そうとしているAPUの実践を紹介し、新しい大学教育のあり方を具体的に模索することを目的としています。具体的には、セミナー前半でまずAPUにおける初年次教育プログラムの詳細を紹介し、学生が授業および課外活動を通してどのように多文化コンピテンシーを獲得して行くのかを検討します。特に、日本人と留学生混合の二言語体験学習の実際、学部生TAの活用、学生寮におけるLiving Learning Communityの実践という3つの実践を中心に紹介します。セミナー後半では、APUでの実践をたたき台にしながら、グローバル人材育成のために日本の大学においてどのような初年次教育プログラムが展開できるのかを、グループ活動を通してブレインストーミングし、実際のプログラム開発を進めてみたいと考えています。



発表について

研究発表、シンポジウム、講演会等は、以下の種別で行われます。

発表者、題目、時間帯、会場等の詳細は、それぞれのページをご覧ください。

基調講演	特定課題研究	個人・共同発表
ケース/パネル	ポスターセッション	

【個人・共同発表、ケース/パネル、ポスターセッション 発表要領】

1. 発表時間(いずれも交換時間を含みます)

- A. 個人発表: 30分 (発表20分、質疑応答10分)
- B. 共同発表: 60分 (発表40分、質疑応答20分)
- C. ポスターセッション: 6月10日(日) 13:30-15:00
時間帯にわたり在席をお願いします。会場は12時からお使いいただけます。
- D. ケース/パネル: 90分 (発表50分、ディスカッション40分)
会場での運営は各グループでお願いいたします。
併せて、参加者による質疑応答の時間を保証するようにご配慮ください。

2. 配付資料

ハンドアウトを用意される方は、1発表につき40部程度ご用意ください。なお、大会準備委員会では印刷などをお引き受けできませんので、ご了承ください。

3. 使用機器

- ・発表を申し込まれた方には、別途機材等に関するご案内をお送りいたします。詳細は、大会HPをご覧ください。
- ・各発表会場にはPCとプロジェクター又はプラズマディスプレイが設置されています。万が一接続等の問題が発生した場合に備え、ご自身のノートPCもお持ちください (Macの場合はアダプターも必要です)。パワーポイントの文書は2003以降のバージョンで作成いただけますようお願いいたします。

4. 発表者欠席の場合

- ・やむを得ない事情により発表者が欠席する場合には、できるだけ前日までに、下記の大会準備委員会にE-mailでお知らせください。
- ・発表取りやめがあっても、プログラムの繰り上げはいたしません。

異文化間教育学会「優秀発表賞」について

異文化間教育学会では、異文化間教育学の発展を期して、学会員の研究発表を奨励し、研究発表の向上を諮ることを目的として、「優秀発表賞」を設けることになりました。

この賞は、当該大会における「個人発表」（複数の発表者による発表も可）の中から、優秀と評価された発表に与えられるものです。受賞者は、規定に定められた推薦者が候補者を推薦し、審査委員会が審査を行った後、理事会の承認を得て決定されます。

候補者の推薦にあたっては、大会参加会員にも投票の機会を用意し、その投票結果も推薦の参考にします。ついては、大会参加会員には「優秀発表賞」候補者推薦投票用紙が各自1枚、配布されますので、それを用いて投票を行って下さい。投票の詳細は下記の通りです。

今回の大会が第1回目となる「優秀発表賞」の実施にあたり、大会参加会員各位のご理解とご協力をお願い致します。

異文化間教育学会
理事長 横田雅弘

投票の詳細

- 本投票は、「優秀発表賞」の候補者推薦にあたって参考とするためのもので、受賞者を選出するためのものではありません。
- 投票用紙は大会参加会員1名につき1枚のみです。
- 投票できるのは「個人発表」のものに限ります。ただし、発表者が複数であっても「個人発表」として発表するものについては投票可です。「共同発表」「ポスターセッション」「ケース/パネル発表」は除きます。
- 投票用紙は記載後、受付近くに設けられた投票箱（優秀発表賞用投票箱）に入れて下さい。
- 投票期間は6月9日（土）14:00から6月10日（日）16:00までとします。それ以前、以後に投票されたものは無効とします。
- 不正な投票が行われた場合には当該の投票は無効とします。

特定課題研究 (9日 F104教室)

「ルーツからルートへ: ニューカマーの子どもたちの今」

コーディネーター

渋谷 真樹 (奈良教育大学)

提案者

「学校における中国帰国児童の主体的な関係性の構築を目指して」

高橋 朋子 (近畿大学)

「見えないトランジション」

児島 明 (鳥取大学)

「地域のとりくみから見えること」

榎井 縁 (公益財団法人とよなか国際交流協会)

指定討論者

松尾 知明 (国立教育政策研究所)



基調講演 “You Can’t Go Home Again”

John Condon (ニューメキシコ大学名誉教授)

(10日 F104教室)

講演要旨

(当日は逐次通訳で講演を行います)

For many of us, the first encounter of living outside of the land and culture that helped shape us is among the most profound influences in our lives. We come face to face with experiences that new, often disturbing, usually disruptive. The experience can -- many will say should -- change us and make re-view what we previously took for granted when growing up. We can't go home again.

As professionals in the field of intercultural communication we encourage our students to look at themselves and their familiar worlds in new ways, and often to step outside of their comfort zones as one route to also going inward. Many will say that is a part of what higher education should ask. But it may also be important for us to ask ourselves some questions. From time to time it may be important for us to re-view what we do and, more importantly, *why* we do what we do. What are *our* values and goals that underlie our commitment to what we do? What do we hope for our students?

Just as we may speak of the diversity of the human experience, in conversation with our colleagues we may discover a diversity of our own values, expectations, and goals in our intercultural work. This talk is an invitation for us to reflect and reconsider some what we try to accomplish in our work and, especially, why we feel this is so very important in higher education today.

講演者略歴

ノースウエスタン大学(博士)卒。国際基督教大学、ニューメキシコ大学などで教鞭をとり、異文化間コミュニケーションの基礎を築く。現在立命館アジア太平洋大学非常勤講師。代表的な著作としては“An Introduction to Intercultural Communication” (F. S. Yousefと共著)、“With Respect to the Japanese: Going to Work in Japan”等。E.T.Hall氏との親交もあり、それを基に著作を執筆中。





個人発表

個人発表

個人発表 A会場 (9日 F棟108教室)

司会: 加賀美 常美代 (お茶の水大学)

田淵 五十生 (福山市立大学)

14:00～14:30 **日本における手話の普及と変容**
加藤 三保子 (豊橋技術科学大学)

14:30～15:00 **多文化共生のコミュニティーづくり**
-プロセスワークのアプローチ-
岩田 好司 (久留米大学外国語教育研究所)

15:00～15:30 **体験型野外教育の可能性**
朝水 宗彦 (山口大学経済学部)

15:30～16:00 **韓国における結婚移住女性に対する韓国語訪問教育の現状と課題**
-忠清南道ノンサン市の現場からみえてきたもの-
具 美善 (一橋大学大学院言語社会研究科)

16:00～16:30 **被災地ボランティアと異文化理解**
-仮設住宅におけるサロン活動を通じた学生たちの学び-
齋藤 眞宏 (旭川大学)



個人発表

個人発表

B会場 (9日 F棟109教室)

司会: 白土 悟 (九州大学)

坪井 健 (駒沢大学)

- 14:00～14:30 高校進学を希望する学齢を超過した義務教育未修了の
外国人住民が置かれた教育環境
小島 祥美 (愛知淑徳大学文学部教育学科)
- 14:30～15:00 中国出身生徒の就職と結婚 -性別・学歴・親職が到達階層と初婚継
続に及ぼす影響のクロス集計分析-
鍛冶 致 (大阪成蹊大学マネジメント学部)
- 15:00～15:30 元留学生外国人社員の組織社会化に関する研究
-上司の支援内容が適応・定着に与える影響について-
島田 徳子 (東京大学大学院学際情報学府)
- 15:30～16:00 女子留学生のジェンダー観 -アンケート結果を中心に
西 由香利 (無所属)
- 16:00～16:30 留学生受け入れによる地域の活性化
-秋田の留学生の意識の変化と交流の課題-
佐藤 由利子 (東京工業大学留学生センター)
- 16:30～17:00 留学生受け入れによる地域の活性化
-留学生の日本語ビデオ制作を目指した地域交流の実践例-
阿部 祐子 (国際教養大学国際教養学部)



個人発表

個人発表

C会場 (9日 F棟110教室)

司会: 山本 雅代 (関西学院大学)
齋藤 ひろみ (東京学芸大学)

- 14:00～14:30 **インドネシア人介護福祉士候補者の日本語をめぐる諸問題**
-受入れ現場におけるフィールドワークから-
上野 美香 (広島大学大学院教育学研究科)
- 14:30～15:00 **国際結婚家庭の言語継承要因**
-日本人母と韓国人母のインタビュー調査から-
花井 理香 (関西学院大学大学院言語
コミュニケーション文化研究科)
- 15:00～15:30 **外国語教育を通じた異文化理解教育**
-初等・中等教育における多面的アプローチの可能性を探る-
大山 万容 (京都大学大学院人間・環境学研究科)
- 15:30～16:00 **日本語授業実践を通してマレーシアにおける
異文化間言語学習を考える**
木村 かおり (早稲田大学大学院日本語教育研究科)
- 16:00～16:30 **「仲間づくり」を主題とした静岡県版日本語初期指導カリキュラム
の開発 -多文化環境クラスにおける「つながり」の創出をめざして-**
矢崎 満夫 (静岡大学教職大学院)
- 16:30～17:00 **日英バイリンガル児童育成の理想と現実**
-日本人家族と国際家族の場合-
ローレンス桜井 静(久留米大学外国語教育研究所)



個人発表

個人発表

D会場 (9日 F棟111教室)

司会: 宮城 徹 (東京外国語大学)

藤田 美佳 (奈良教育大学)

14:00~14:30

リピーターが語った異文化適応クラスの効果

-再履修生が語る異文化理解の授業効果について その2-

大味 潤 (尚美学園大学総合政策学部・芸術情報学部)

14:30~15:00

参加型活動を通じた異文化理解促進の試み

-関西の公立中学校に在籍している日中生徒の事例を中心に-

潘 英峰 (大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程)

15:00~15:30

異文化間教育における e ポートフォリオ活用の可能性

-オーストラリアの大学の事例に基づく一考察-

工藤 和宏 (獨協大学外国語学部)

15:30~16:00

栄養系学生のための異文化間教育: 実践報告

津田 晶子 (中村学園大学短期大学部食物栄養学科)

16:00~16:30

異文化間教育とキーコンピテンシー

-オーストラリアに焦点をあてて-

松尾 知明 (国立教育政策研究所・初等中等教育研究部)

16:30~17:00

人権教育を実施する意義

-日本人クラスと多文化クラスの質問紙調査の結果をもとに-

宮本 美能 (大阪大学人間科学研究科)



個人発表

個人発表

E会場 (9日 F棟112教室)

司会: 中島 智子 (プール学院大学)

小島 勝 (龍谷大学)

- 14:00～14:30 **幼児の前偏見生成の解明に向けて**
-霊長類コミュニケーション研究の視座から-
 上原 麻子 (常磐会学園大学国際子ども教育学部)
- 14:30～15:00 **アメリカの児童は”雪だるま”をどう描いたか**
 塚本 美恵子 (駿河台大学メディア情報学部)
- 15:00～15:30 **父親に焦点化した移民家庭への子育て支援**
-ドイツ・NRW州の試みから-
 伊藤 亜希子(山梨大学大学教育研究開発センター)
- 15:30～16:00 **フィリピン人の親を持つ子どもたちの教育をめぐる問題点**
-「サポーター」の視点から-
 矢元 貴美 (大阪大学大学院人間科学研究科)
- 16:00～16:30 **人の移動と学校教育制度の相克**
-朝鮮学校の教育における「失敗」と工夫の綱引きを手がかりに-
 呉 永鎬 (一橋大学大学院社会学研究科)
- 16:30～17:00 **多文化の背景を持つ保護者の学校参加**
-PTA家庭教育学級での試みを通して-
 稲田 素子 (立教大学)



個人発表

個人発表 F会場 (10日 F棟111教室)

司会: 渋谷 真樹 (奈良教育大学)

9:30~10:00

マイノリティの名前とアイデンティティ

- 日系アメリカ人女性と在日コリアン女性のナラティブから-

青木 香代子 (桑港学園)

10:00~10:30

日系アメリカ人「新二世」にみる重層的アイデンティティの形成

-ロサンゼルスにおける家族調査をもとに-

額賀 美紗子 (和光大学)

個人発表

個人発表 G会場 (10日 F棟112教室)

司会: 田中 共子 (岡山大学)

9:30~10:00

海外経験によって得られた帰国高校生の特性とその関連要因

-属性と家庭および在籍校からのサポートとの関連から-

岡村 郁子 (お茶の水女子大学グローバル教育センター)

10:00~10:30

ヒューマンライブラリーの可能性を探る

-坪井ゼミの実践からの探求-

坪井 健 (駒澤大学文学部社会学科)



個人発表

個人発表

H会場 (10日 F棟111教室)

司会: 嶺井 明子 (筑波大学)

14:00~14:30

多文化(共生)主義の政策的課題と多文化教育における葛藤
-アメリカ合衆国における調査が示唆するもの-

馬淵 仁 (大阪女学院大学)

14:30~15:00

日本における多文化教育の課題：浜松市の外国人支援をめぐる状況
についての人類学的考察より

金 明美 (静岡大学情報学部情報社会学科)

15:00~15:30

日本における日系ブラジル人生徒のエスニックアイデンティティと
家庭生活環境、帰国体験との関連

田中 詩子 (お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科)

個人発表

個人発表

I会場 (10日 F棟112教室)

司会: 松尾 知明 (国立教育政策研究所)

14:00~14:30

外国につながるのある子どもを支える保育
-新人保育者へのインタビューからわかること-

内田 千春 (名古屋女子大学文学部児童教育学科)

14:30~15:00

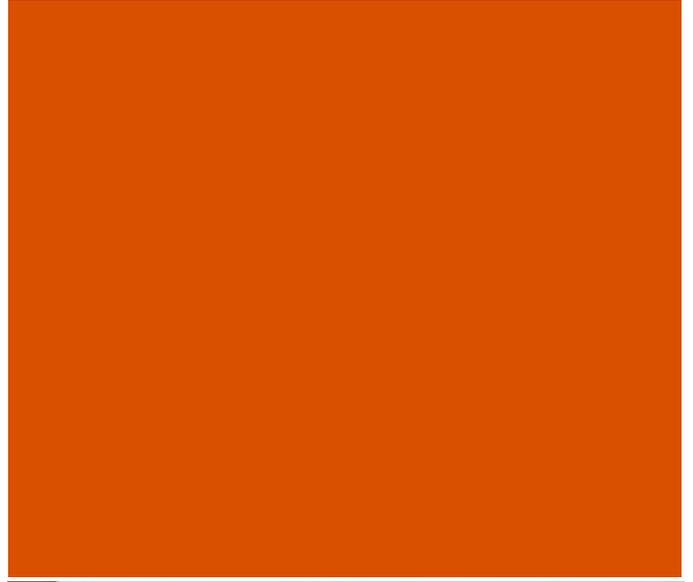
高校における「取り出し指導」の課題
-既存のシステムを問い直すために-

高松 美紀 (東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科)

15:00~15:30

中華学校に子どもを通わせる保護者の
「良き日本人」をめぐるコンフリクト

芝野 淳一 (大阪大学大学院人間科学研究科)



共同発表

共同発表

共同発表

A会場 (9日 F棟103教室)

司会: 渡部 淳 (日本大学)

14:00~15:00

大学における参加型授業を通じた対話と協働の可能性

-多文化多言語社会における教師養成-

齋藤 ひろみ (東京学芸大学教育学部)

浜田 麻里 (京都教育大学教育学部国文学科)

石井 恵理子 (東京女子大学現代教養学部人間科学科)

15:00~16:00

ホリスティックな異文化間コミュニケーション教育

-ホリスティックな視点とその応用-

福田 鈴子 (浜松大学)

砂子 岳彦 (浜松大学)

16:00~17:00

地域社会のための「グローバル人材」育成

-ポスト3.11に向けて問い直す-

松岡 洋子 (岩手大学国際交流センター)

尾中 夏美 (岩手大学)



共同発表

共同発表 B会場 (9日 F棟107教室)

司会: 横須賀 柳子 (国士舘大学)

14:00~15:00

**ブラジル人学校に在籍する生徒とその保護者の将来計画に関わる意識
-ブラジル人学校でのアンケート調査より-**

川口 直巳 (愛知教育大学教育学部

現代学芸課程日本語教育コース)

丸井 合 (学校法人HIRO学園)

15:00~16:00

国費留学生の日本での就職とキャリア形成

-理科系ベトナム人留学生の例-

中井 陽子 (東京外国語大学留学生

日本語教育センター)

菅長 理恵 (東京外国語大学留学生

日本語教育センター)



共同発表

共同発表

C会場 (10日 F棟107教室)

司会: 恒吉 僚子 (東京大学)

9:30~10:30

中学生の国際理解意識の国際比較

-日中米3ヶ国におけるアンケート調査の結果から-

義永 美央子 (大阪大学国際教育交流センター)

潘 英峰 (大阪大学大学院言語文化研究科)

中橋 真穂 (大阪大学大学院言語文化研究科)

共同発表

共同発表

D会場 (10日 F棟108教室)

司会: 馬淵 仁 (大阪女学院大学)

9:30~10:30

文化差とは何か？

-インドネシア介護福祉士・看護師候補者の日本体験から-

浅井 亜紀子 (桜美林大学リベラルアーツ学群)

箕浦 康子 (お茶の水女子大学)

宮本 節子 (兵庫県立大学環境人間学部)





ケース/パネル

ケース/パネル

ケース/パネル A会場 (10日 F棟107教室)

14:00~15:30

異文化間教育と映像メディア

司会者, ディスカッション 塚本 美恵子 (駿河台大学)
 共同発表者 井上 智義 (同志社大学社会学部)
 共同発表者 村田 雅之 (東京工芸大学芸術学部デザイン学科)
 共同発表者 齋藤 眞宏 (旭川大学)

ケース/パネル B会場 (10日 F棟108教室)

14:00~15:30

独日国際児のバイリテラシーの形成過程(1):

談話に現れる書きことばの特徴の分析を中心に

共同発表者, 司会者 柴山 真琴 (大妻女子大学家政学部)
 共同発表者 ビアルケ(當山) 千咲 (大妻女子大学非常勤)
 共同発表者 池上 摩希子 (早稲田大学大学院日本語教育研究科)
 共同発表者 高橋 登 (大阪教育大学教育学部)
 ディスカッション 石井 恵理子 (東京女子大学現代教養学部)

ケース/パネル C会場 (10日 F棟109教室)

14:00~15:30

ドイツ語圏の日系国際児たち -言語、文化、アイデンティティ、そして教育-

共同発表者, 司会者 鈴木 一代 (埼玉学園大学人間学部)
 共同発表者 今村 圭介 (首都大学東京大学院人文科学研究科)
 共同発表者 渋谷 真樹 (奈良教育大学教育学部)
 ディスカッション 新田 文輝 (吉備国際大学社会学研究科)
 ディスカッション 小林 亮 (玉川大学教育学部)



ポスター発表

ポスター発表

13:30–15:00 (10日 F棟アトリウム)

日本留学の長期的なインパクト：「研究室」でのインドネシア人留学生の体験と帰国後の活用を通して考える

有川 友子 (大阪大学国際教育交流センター)

文化的アイデンティティの関係性を捉える -対話的自己論の視点から-

Prymakova Kateryna (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)

韓国における教育価値観の年代・世代間比較

加賀美 常美代 (お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科)

岡村 佳代 (お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科)

パク エスター (お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科)

在日留学生における食の文化受容 -異文化滞在者の食育という課題への示唆-

田中 共子 (岡山大学社会文化科学研究科)

高浜 愛 (一橋大学法学研究科)

留学生向け日本語添削支援の現状 -日本人添削者の視点から-

渡部 留美 (名古屋大学国際交流協力推進本部)



中国系ニューカマーの留学と就労体験を通じた心理的葛藤と行動変容

-日中文化差の調整過程をめぐる分析-

奥西 有理 (大阪大学工学研究科)

多文化グループでの活動を通し、グループはどう変容したか

-アクティブラーニングプログラムからの一考察-

秦 喜美恵 (立命館アジア太平洋大学

教育開発・学修支援センター)

住田 環 (立命館アジア太平洋大学言語教育センター)

清水 昭子 (立命館アジア太平洋大学言語教育センター)

板井 芳江 (立命館アジア太平洋大学言語教育センター)

移動の中で育った若者たちのキャリア形成と複数言語

尾関 史 (早稲田大学日本語教育研究センター)

共生に対する考えの変容 -日本語ボランティア教室の活動を通して-

足立 祐子 (新潟大学国際センター)

松岡 洋子 (岩手大学)

国際交流プログラムにおける参加者の学び

宇治谷 映子 (名古屋外国語大学)



第33回大会 賛助団体ご芳名

明石書店
アカデミア出版
風間書房
くろしお出版
勁草書房
ココ出版

(以上、五十音順)

本大会を開催するにあたり、上記の団体より多大なご支援をいただきました。ここにご芳名を記して、感謝の意を表します。

異文化間教育学会第33回大会
準備委員会
委員長 近藤祐一



多文化社会の偏見・差別 形成のメカニズムと低減のための教育

加賀美常美代、横田雅弘、坪井健、工藤和宏 編著
異文化間教育学会 企画 ◎定価2100円(本体2000円+税)

偏見はどのように形成され、人を苦悩させるのか、そして偏見低減のためにどのような可能性と実践があるのか? 偏見形成のメカニズムに関する実証データや行動観察、当事者の語りを考慮し、社会心理学の理論とヒューマンライブラリーを中心とした教育実践を詳解する。

■内容構成■

第1部 多文化社会における偏見形成

第1章 グローバル社会における多様性と偏見 [加賀美常美代]

第2章 幼児の前偏見の生成と低減の可能性 [佐藤千瀬]

第3章 差別の体験がどのように当事者を苦しめるか
——ライフストーリー

3-1 ユニークフェイス [手塚章太朗]

3-2 異文化体験と障がいをもつ家族との関係 [坂田麗子]

第2部 偏見低減の理論と方法

第4章 偏見低減のための理論と可能性 [浅井暢子]

第5章 大学における偏見低減のための教育実習とその効果
[加賀美常美代・守谷智美・村越彩・岡村佳代・
黄美蘭・富田裕香]

第6章 ヒューマンライブラリーとは何か [横田雅弘]
——その背景と開催への誘い

第7章 大学におけるヒューマンライブラリーの実践 [坪井健]
——駒澤大学坪井ゼミの取り組みから

第8章 偏見低減に向けた地域の取り組み [工藤和宏]
——オーストラリアのヒューマンライブラリーに学ぶ

現代国際理解教育事典

国際理解教育学会 編 ◎定価4935円(本体4700円+税)
歴史・理論から多文化社会・グローバル社会・地球的課題等の学習領域、さらには学習論・方法論から代表的実践まで、11分野・270以上の項目を網羅。深遠な内容を包含する国際理解教育の実践と理論を最新の学問的成果を踏まえ編集・収録した本邦初の本格的な事典。

移住労働と世界的経済危機

移民・ディアスポラ研究1

明石純一 編著 ◎定価2940円(本体2800円+税)
2008年に始まった世界的な金融危機は、景気を後退させ、各国で企業を倒産させ、労働者から職を奪った。東日本大震災を被った日本もまた、ポスト経済危機という時代の延長に現在もある。移住労働者という視角から見えてくる、知られざる現実を伝える。

東日本大震災と外国人移住者たち

移民・ディアスポラ研究2

鈴木江理子 編著 ◎定価2940円(本体2800円+税)
震災は増加する外国人移住者の地域社会での受け入れと多文化共生の現状を浮き彫りにした。被災地域で暮らす移住者たちの体験したバッシングや支援の手が届きにくい現状を踏まえ、地域の一員として共に復旧・復興していく上での課題を明らかにする。

3.11後の多文化家族 未来を拓く人びと

川村千鶴子 編著 ◎定価2625円(本体2500円+税)
これまで社会のマイノリティとみなされてきた外国籍住民、国際結婚女性、難民申請者や認定者、無国籍者、高齢者や障害者たちが、3.11東日本大震災をどう受けとめ、支援活動に赴き、どのような関係を結ぶようになったのか、被災地の生の声を伝え分析する。

異文化間教育 文化間移動と子どもの教育

佐藤郡衛 著 ◎定価2625円(本体2500円+税)
異文化間教育の概念や研究方法を概観・再考すると同時に、従来の「異文化」というカテゴリー、単一文化・社会を基点にした捉え方を問い直し、今後の研究・教育政策の課題を提示する。

トランスナショナルな「日系人」の 教育・言語・文化 過去から未来に向けて

森本豊富、根川幸男 編著 ◎2012年6月上旬刊行予定

明石書店

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5
http://www.akashi.co.jp 振替00100-7-24505 *目録送呈

TEL.03-5818-1171 FAX.03-5818-1174

心理学・教育学関係学術図書のご案内

価格は税込。

ブラジル人生徒と日本人教員の異文化間コミュニケーション

西田ひろ子編著 2940円

日本で就学しているブラジル人生徒を対象に、勉学の際の異文化適応問題をスキーマ理論から分析。教員と父兄のアンケートから生徒が抱える問題解決への道を探る。

米国、中国進出日系企業における異文化間コミュニケーション摩擦

西田ひろ子編著 8925円

日本人と米国人/中国人が同じ職場で働くときに感じる文化の違いを、従業員への調査をもとにデータを収集し、異文化間コミュニケーション摩擦の問題点を分析する。

グローバル社会における異文化間コミュニケーション

西田ひろ子編著 3675円

中国、マレーシア、フィリピン、米国進出日系企業177社、3194名への質問紙調査をもとに、異文化間コミュニケーション摩擦の問題点を文化スキーマ理論により解明する。

異文化間コミュニケーションにおける相互作用管理方略

佐々木由美著 14700円

文化スキーマ理論に基づき、各文化で獲得した方略スキーマにより、特定の相互作用の方略を選択することについて、実証的検証を試みた研究である。

幼児の異文化理解及びその教育に関する研究

植田 都著 6510円

幼児の特殊性に注意を払い、異文化間教育の幼児教育の適応について論じ、幼児の異文化意識と異文化接触の具体的・事象的な観察調査による事例を示し、検証する。

コンフリクト解決のカウンセリング

井上 孝代著 2940円

コンフリクト解決のためのアプローチとして、マクロ・カウンセリング理論とトランスエンド法を統合。学校現場を中心にコンフリクトの創造的解決・転換を目指した書。

国際結婚の家族心理学—日米夫婦の場合—

矢吹 理恵著 5775円

夫アメリカ人・妻日本人の夫婦を対象に、家庭で構築された文化と、心理的な変容過程を分析。インタビューを中心とした事例から国際結婚家族の現状が浮び上がる。

日米のテスト戦略—ハイスティクス・テスト導入の経緯と実態—

北野 秋男著 2100円

「全国学力テスト」の本当のねらいは何か? 子ども、教師、学校を追い込む競争主義的、結果主義的教育を見直し、日米のテスト政策導入の経緯と実態を比較検証。

「伝統と文化」に関する教育課程の編成と授業実践

安部崇慶/中村哲編著 3990円

我が国における「伝統と文化」に関する教育の先駆的地域を対象に、歴史、理論、比較、実践、心理研究等の総合的方法に基づいて伝統と文化の教育の可能性を探る。

日本文化理解教育の目的と可能性—小・中学校の事例を中心として—

永添 祥多著 2415円

近年、充実が掲げられている我が国の伝統や文化に関する教育について、小・中学校の特徴的実践事例の検討を通して日本文化理解教育の目的と可能性を明らかにする。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

風間書房

(URL) http://www.kazamashobo.co.jp
メールアドレス pub@kazamashobo.co.jp

新しいアプローチの初級日本語教科書

NEJ [vol.1] A New Approach to Elementary Japanese

テーマで学ぶ基礎日本語

■西口光一 [著] / B5判 / ¥1,995 / 音声無料ダウンロード

指導参考書 **NEJ [vol.2]**

5月末刊行予定

7月刊行予定

日本語教師にも、日本語学習者にも

日本語文型辞典

日本語版 タイ語版 韓国語版
中国語版 (繁体字版・簡体字版)

■グループ・ジャマシイ [編著] / A5判 / 各¥2,940 (日本語版のみ¥3,465)

すぐ読めて、すぐ役に立つ

クラスルーム運営

日本語教師のためのTIPS77①

■横溝紳一郎 [著] (シリーズ監修: 當作靖彦/横溝紳一郎) / 四六判 / ¥1,365

日本語教育に役立つためのコミュニケーション研究とは

**日本語教育のための
コミュニケーション研究**

■野田尚史 [編] / A5判 / ¥2,520

評価がわかれば、日本語の指導は変わる

日本語教師のための評価入門

■近藤ブラウン妃美 [著] / B5判 / ¥2,940

雑談の体系的な指導を目指し、その構造を明らかに

雑談の構造分析

■筒井佐代 [著] / A5判 / ¥4,410

戦後60年の日本語教育学における「言説」の変化とは

**戦後日本語教育学と
ナショナリズム**

「思考様式言説」に見る包摂と差異化の論理

■牲川波都季 [著] / A5判 / ¥3,150



〒113-0033 東京都文京区本郷 3-21-10 Tel 03-5684-3389 Fax 03-5684-4762 Mail kurosio@9640.jp <http://www.9640.jp>

<p>外国人の子どものいる教育現場で、教師はいかなる葛藤を経験しているのか。実践過程における教師の対処方略を、参与観察により詳細に検証する。</p> <p>教師の認知と思考</p> <p>ニューカマーの子どものいる教室</p> <p>■金井香里 A5判上製280頁 定価4200円 ISBN978-4-326-25074-5</p>	<p>相互学習型の日本語教育の場面において、「日本人／外国人」というカテゴリー化の形成メカニズムを解明し、交渉と対立克服への過程を分析する。</p> <p>言語的共生化の過程分析</p> <p>日本語学習のエスノメソッドロジー</p> <p>■杉原由美 A5判上製216頁 定価3150円 ISBN978-4-326-25064-6</p>	<p>学校と家族の間の日常世界 (はざま) で揺れ動く外国人の子どもの日常をフィールドワークによって描き、意味世界を構成するコンテキストとその生成を解明。</p> <p>ニューカマーの子どもの日常世界</p> <p>■清水睦美 A5判上製384頁 定価4725円 ISBN978-4-326-25055-4</p>	<p>協働と協力のためのスキルを育成する学校や教育制度は、どうすれば実現できるのか。世界の視野をもつ子どもの市民性を育てるために。</p> <p>シティズンシップと教育</p> <p>変容する世界と市民性</p> <p>■A・オスラー、H・スターキー / 清田夏代・関芽 訳 A5判上製328頁 定価3780円 ISBN978-4-326-25059-2</p>	<p>いま、この日本で、「学び」から遠ざけられている子どもたちがいる。ニューカマーの児童の不就学の実態と、問題解決に向けた提言。</p> <p>外国人の子どもの教育問題</p> <p>政府内懇談会における提言</p> <p>■佐久間孝正 四六判上製224頁 定価2310円 ISBN978-4-326-25087-6</p>	<p>「学校選択」の結果、フランスでは何が起ったのか。階層・地域間格差・社会関係資本・親の教育戦略等を視野に、日仏の研究者が分析する。</p> <p>学校選択のパラドックス</p> <p>フランス学区制と教育の公正</p> <p>■馬淵 仁 編著 A5判上製240頁 定価2940円 ISBN978-4-326-25069-1</p>	<p>教育における「多文化共生」が謳われて久しいが、その実現は本当に可能なのか。論点を整理し、課題解決のための具体的な道筋を探る。</p> <p>「多文化共生」は可能か</p> <p>教育における挑戦</p> <p>■馬淵 仁 編著 A5判上製240頁 定価2940円 ISBN978-4-326-25069-1</p>
--	--	--	--	---	--	---

*表示価格には消費税が含まれております。



<http://www.keisoshobo.co.jp>

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 TEL 03-3814-6861 FAX 03-3814-6854

異文化間教育学会

異文化間教育

◆バックナンバーのご案内(分冊でも、全冊でもご購入できます)

- 1 特集＝異文化間教育と教育の国際化 本体2300円＋税
- 2 特集＝異文化間教育と国際理解 本体2300円＋税
- 3 特集＝異文化間教育とコミュニケーション 本体2300円＋税
- 4 特集＝外国語としての日本語の教育 本体2300円＋税
- 5 特集＝在日留学生と異文化接触 本体2300円＋税
- 6 特集＝異文化接触と教育摩擦 本体2500円＋税
- 7 特集＝多文化教育と外国人教育 本体2500円＋税
- 8 特集＝異文化理解と言語教育 本体2500円＋税
- 9 特集＝異文化接触とアイデンティティ 本体2500円＋税
- 10 特集＝異文化間教育学の可能性—学会十五年の回顧と展望 本体2500円＋税
- 11 特集＝異文化間リテラシー 本体2500円＋税
- 12 特集＝異文化間教育の実践的展開—その理論と方法 本体2500円＋税
- 13 特集＝留学生支援システムの最前線 本体2500円＋税
- 14 特集＝小学校の英語教育—異文化間教育からの提言 本体2500円＋税
- 15 特集＝異文化間トランス 〈20周年記念〉本体3000円＋税
- 16 特集＝異文化受容の転機 本体2500円＋税
- 17 特集＝「総合的な学習」と異文化間教育 本体2000円＋税
- 18 特集＝地域ネットワークと異文化間教育 本体2000円＋税
- 19 特集＝越境のもたらすもの 本体2000円＋税
- 20 特集＝異文化間カウンセリングの今日的課題 本体2000円＋税
- 21 特集＝在日外国人教育の現在 本体2000円＋税
- 22 特集＝異文化間教育研究と「日本人性」 本体2000円＋税
- 23 特集＝異文化間教育の現在 本体2000円＋税
- 24 特集＝異文化間教育の語り直し—他者・境界・文節化 本体2000円＋税
- 25 特集＝異文化間教育と教師 本体2000円＋税
- 26 特集＝バイカルチュラル家族—複数の文化と言語が交叉するところ 本体2000円＋税
- 27 特集＝異文化間教育学会25年の回顧と展望 本体2300円＋税
- 28 特集＝地域におけるニューカマー支援と連携—異文化間教育学の視座から 本体2300円＋税
- 29 特集＝異文化間のコミュニケーションを考える 本体2300円＋税
- 30 特集＝多文化共生社会をめざして—異文化間教育の使命 本体2300円＋税
- 31 特集＝生涯を通しての「異文化間教育」 本体2300円＋税

異文化間協働—国際文化学の展開

小林哲也 森 聖雨 太田洋子 編著

四六判376ページ 定価(本体3500円＋税)

まえがき

第一部 国際文化学の展開—異文化をつなぐ関係性

- 1 国際文化学を学ぶ—アイデンティティと学際性をめぐって 小林哲也
- 2 国際文化の学を考える—体系としての確立をめざして 森 聖雨
- 3 国際文化学の源泉を探る—コスモポリタニズムという希望 佃 繁

第二部 文学から文化へ—異文化間理解

- 1 自然と文化が巡り合う場所—つなぎ目としてのシドニーの庭園 大田垣裕子
- 2 宇宙のリズムへのつながり—児童文学の試み 大角洋子
- 3 文化の衝突を超えて—E. M. フォースター『天使も踏むを恐れるところ』 太田洋子
- 4 条理と不条理の間—ミユリエル・スパーク『ブラック・マドンナ』 杉山克枝
- 5 日本文化の多元的認識と「南島」—「ヤポネシア」という視点 西尾宣明

第三部 多文化と相互理解—異文化間交流

- 1 相互理解のコミュニケーション—文化的背景の異なる場 樋口勝也
- 2 国際語としての英語—その功罪 伊達民和
- 3 多文化社会アメリカの葛藤と共生—黒人大学をめぐって 権 瞳
- 4 誤解させる日本という国—説明責任をとらない文化 西道 実

第四部 実践と理論への志向—異文化間協働

- 1 意識変容と協働の学習—海外体験がもたらすものマッセルホワイト、リンダ・ダイアン 松田浩志
 - 2 異文化間協働の実践—ネパール研修 松田浩志
 - 3 日本語「紹介」の活動—自己の文化の認識から意識の変容へ 関 綾子
 - 4 異文化における教育協力—ミャンマーでの経験をもとに 亀井慶二
 - 5 「地域のつながり」と子育て支援—市民と行政による「食育」の協働 寺田恭子
 - 6 異文化間協働が拓く福祉社会—ボランティア活動は境界を越える 森定玲子
- あとがき 太田洋子

アカデミア出版会

〒606-8315 京都市左京区吉田近衛町1-6 TEL.075-771-7055 FAX.075-771-9595

ドラマチック日本語コミュニケーション

「演劇で学ぶ日本語」リソースブック

野呂博子・平田オリザ・川口義一・橋本慎吾編 2,000円＋税 ISBN 978-4-904595-19-0

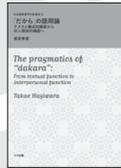
JSL 中学高校生のための

教科につながる学習語彙・漢字ドリル

(ポルトガル語版) / (スペイン語版) / (中国語版)

樋口万喜子編 中学・高校生の日本語支援を考える会著 1,600円＋税

ISBN (ポ) 978-4-904595-21-3 / (ス) 978-4-904595-22-6 / (中) 978-4-904595-05-3



▽シリーズ 多文化・多言語主義の現在 4

「開かれた日本」の構想

移民受け入れと社会統合

北脇保之編 2,400円＋税 ISBN 978-4-904595-15-2

にほんごこれだけ! 1 & 2

庵功雄監修

(1) 1,000円＋税 ISBN 978-4-904595-06-0

(2) 1,200円＋税 ISBN 978-4-904595-14-5

日本語ボランティアと
定住外国人のための
画期的教材!



J-CAT オフィシャルガイド

コンピュータによる自動採点日本語テスト

今井新悟編著 赤木彌生・中國博美著 1,600円＋税 ISBN 978-4-904595-18-3

▽日本語教育学の新潮流 3

「だから」の語用論

テキスト構成的機能から対人関係的機能へ

萩原孝恵著 4,000円＋税 ISBN 978-4-904595-22-0

現代日本語指示詞の総合的研究

堤良一著 3,600円＋税 ISBN 978-4-904595-17-6

今帰仁方言アクセントの諸相

小川晋史著 4,800円＋税 ISBN 978-4-904595-16-9

株式会社ココ出版 〒162-0828 東京都新宿区袋町 25-30-107
tel & fax 03-3269-5438 e-mail: info@cocopb.com www.cocopb.com

異文化間教育学会第33回大会準備委員会

大会準備委員長 近藤祐一 (立命館アジア太平洋大学)
副委員長 平井達也 (立命館アジア太平洋大学)

協力

立命館アジア太平洋大学リサーチオフィス

異文化間教育学会 第33回大会プログラム

発行日 2012年5月10日

発行者 異文化間教育学会第33回大会準備委員会

委員長 近藤祐一

874-8577 大分県別府市十文字原1-1

e-mail: ibunnka333@gmail.com

APU